



バスも便利な吉備線 L R T 化

ランデブー・コンセプト

■吉備線 L R T の検討中断が話題になっていますが、L R T について大きな誤解があります。L R T (ライトレールトランジット) を直訳すれば「軽量鉄道交通網」ということ。J R の山陽本線などの「ヘビーレール」は、40 トンもある重たい車輛が、10-16 輛も繋がって、時速 130km 以上で突っ走るから、レールも重く、路盤も頑丈するのでコストがかかる。また踏切があっても簡単に止まらないから、なるべく高架橋にする。その最たる物が新幹線で、今まで日本の社会や産業を支えてきた。J R 赤字ローカル線は新幹線の黒字で維持されてきたという、日本だけの特殊事情があった。



福井のライトレール 写真 清水省吾

■阪神大震災で阪神間に大きな被害を受けた J R 西日本では、「これが山間部の路線だったら復旧できない」とショックを受けたという。J R が完全民営化して上場し、外国人株主が 30% にもなるとの見込みもあり、地域の赤字ローカル線、たとえば吉備線などでは、地域のバス路線など連携してライトレールとして再生した方が地域のためだとの認識から、1999 年に検討がはじまった。

■欧米のライトレールは路面電車と国鉄ローカル線が相互乗入れしている例も多く、RACDA が仲人をして岡山電気軌道と J R の勉強会が始まった。この成果は 2006 年の J R 富山港線の L R T 化に生かされ、富山では路面電車も環状化して富山ライトレールへの相互乗入れが実現している。富山では現在城端線・氷見線の L R T 化が吉備線を追いかけるように検討されている。岡山の低床路面電車 MOMO は吉備線との相互乗入れように開発され、そのおかげで富山・高岡・福井では同型が 2 2 編成も走っている。

■「ベビーカーで乗り放題電車バス」 今年の RACDA の運動目標

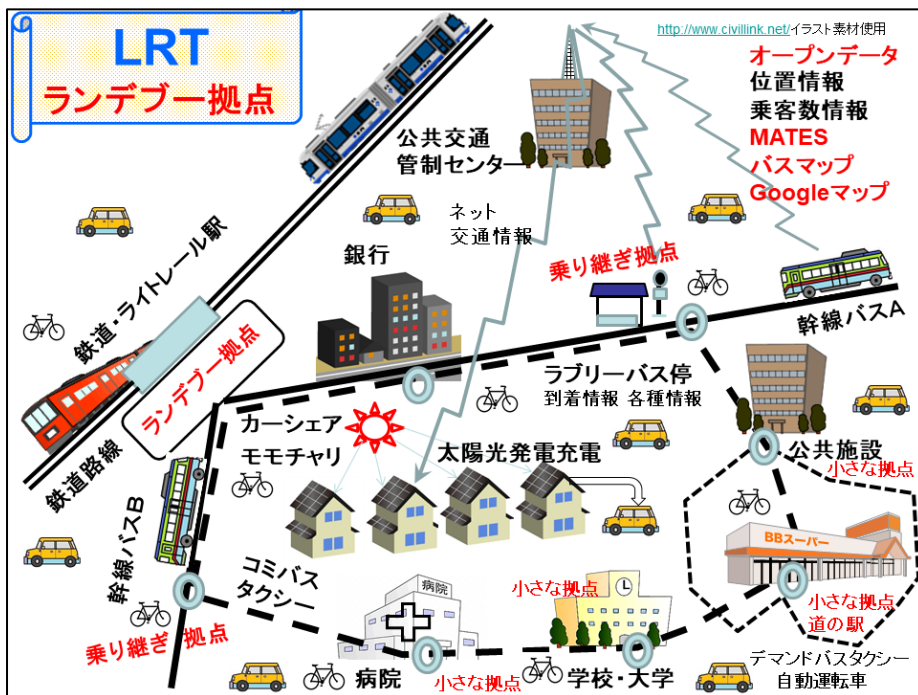
ようやく岡山市でも全国に比べて遅れていた高齢者割引が実現するが、電車バスの経営はコロナで危機的状況に陥り、ほっておくと大減便されて仕舞いには無くなってしまふ。電車バスが無くなって一番困るのは学生とお年寄り、それに観光客などの交通弱者だ。日本では学割は事業者負担が当たり前だが、既に興割引の学生通学定期割引は事業者の大きな負担となっており、割引分を教育費用とする行政負担の検討は急務だ。札幌市や沖縄県、ひたちなか市等では既に負担を始めている。私たちはさらに育児出産への手厚い交通補助、バリアフリー化推進のために「ベビーカーで乗り放題電車バス」を提案したい。いつでもベビーカーが乗れるためには、全部が低床になり、スペースにも余裕が必要で、民間事業者では負担は難しい。

■ランデブー拠点

3月には年一回JRのダイヤ改正があり、赤穂線・山陽線の昼間減便の一方、吉備線は30分に1本のパターンダイヤになった。今まではJRがまずダイヤを決め、バス会社はそれを見て独自にダイヤを編成していた。本来は電車バスの便数が十分でない場合、行政が主導して、待たずに乗れるダイヤを作り、電車バス全体の利便性を高める必要が有る。乗り継ぎ拠点のことを行政用語では「交通結節点」と呼んでいるが、富山大学では利用者目線からこれを「ランデブー・コンセプト」と呼んでいる。また京都市交通局では、地下鉄烏山線の最終便の乗り継ぎ改善「シンデレラ・クロス」を実現して、2010年から6年間で乗客を90%増やすことに成功した。岡山駅では23時以降に各線の最終便が運行されており、21時までにはほとんどバスが無くなる天満屋周辺・表町とは夜の賑わいに格段の差が出ている。岡山駅の「シンデレラクロス」を失ってはいけない。

■岡山駅はJRが8方面にも走る全国的にも珍しいランデブー拠点

であり、これが岡山の都市力の源泉となっている。バス会社が多く生き残ってきたのも、新幹線のぞみが停まり山陰四国への入口にもなっている岡山駅の便利さが牽引していた。こうした政策のためには、ダイヤ編成や路線配置を事業者の任せののではなく、行政が応分の負担もしながら、ダイヤ編成や路線企画を専門に行うスタッフを雇用して、事業者任せの現在の体制を見直す必要があります。またヨーロッパなどで取り入れられているPSO契約という事業委託評価制度を導入できるよう、民間会社主体で運営することを前提とした、国の交通政策そのものを変更する必要があります。公共交通は最大の福祉政策、経済政策、人口政策でもある。



Action6 !!!「電車・バスを便利に」

1. もよりの停留所まで300m、歩いて5分以内に行ける
2. 岡山市内のどこからどこでも1時間で移動できる
3. ピーク時以外は、すべての乗客がちゃんと座れる
4. どの便も早朝から深夜まで、最低でも30分間隔で運行
5. 岡山市内のどこからどこへでも500円以内で移動できる
6. すべての電車・バス、ランデブー拠点を便利にしたい

NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail: info@racda-okayama.org

URL: http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索

